

# わくわくらんど環境設定計画(0歳児～2歳児)

		57日～6ヶ月	6ヶ月～1歳3ヶ月	1歳3ヶ月～2歳	2歳
場所	年齢別発達の 主な特徴  ブースの 内容および設定	・原始(新生児)反射 ・腹ばいで頭を上げる。 ・首すわりの完成。	・寝返り、一人すわりができる。 ・はいはい、つかまり立ち、伝い歩きへと移動する。 ・親指と人差し指で物をつまむ。 ・両眼視の機能が完成し、2次元的な平面的視野から3次元の世界での奥行き・上下左右、自分との距離がほぼ正確につかめる。	・一人でしっかり立ち、歩けるようになる。 ・探究心が旺盛になる。 ・単語の数が増える。 ・手で道具を操作する。 ・めくる・剥がす・指先でつまむなどの運動機能が伸びる。	・歩行の機能が一段と進み、走る・跳ぶなどの基本的な運動機能が伸びる。 ・自己主張が強くなる。 ・自分の力だけでは出来ないことも、大人の手を借りずに自分でやってみようとする。 ・「これなに?」などの質問が多くなる。 ・語彙数が急速に伸びる。 ・喜びや、感動や発見を、共感してくれる大人や友達に伝え、一緒に体験したいと思うようになる。
ふいーど 運動と 創造の スペース	全身を使う遊び 雑草の土山・鉄棒・タイヤ・広場		不安定な2足立ちの時期に、斜面のぼりや広いスペースで、はいはいや歩行の機会を十分に持ち、歩行の完成に向けての援助を行う。	歩行完成に向けて斜面や広いスペースの中で、十分に歩行の機会を積み重ねることで、歩行力の安定につながる。	歩行の機能がさらに発達し、走りたい、登ってみたい、ボールを投げてみたい、などの興味が運動活動への意欲に繋がり、全身運動機能の発達を援助する。
	砂場遊び・どろだんご作り・ごっこ遊び 砂場・砂場道具・シャベル・雨どい・テーブル・椅子等			手からこぼれ落ちる砂の感触の不思議さ、楽しさが好奇心を育て、思いのままに砂に触れたり、砂場道具を使って自己表現をしようとする。	
きっず ふぁーむ 自然の 恵みの スペース	野菜の栽培・畑(サツマイモ・ジャガイモ・枝豆・トマト・きゅうり・ピーマン・なす・赤カブ・菜っ葉他)	光・風・音・匂い・外気温など五感からのさまざまな感覚から外の世界を認知する。	身近にあるものに興味を示し、探究心の芽生えとともに自分の意志で移動しようとすることで、さらに運動機能の発達援助をする。	身近な野菜を見たり触ったりして、野菜の名前を知り、日常の食事との関連性に気付くよう、援助する。	野菜の名前を知り、見たり触れたりする中で食材を身近に感じ、食事への意欲へと繋げる。
ころころこみち いろいろな 出会いの スペース	四季の自然を感じる季節の花・ハーブ類・ホットスペース(ベンチ・小石の小道・丸太)(チュウリップ・スイセン・クロッカス・アサガオ・サルビア・ひまわり・コスモス・すずらん・フキ・すみれ他)			さまざまな素材でできている小道を歩いたり、四季の花々に興味を示し、触れ、いろいろな色・形・手触りなど身体全体で体験する。さらに見たこと、認知したことを言葉にして大人に伝えたいという意欲に繋げる。	
ころぼっくる 自然の命と 変化の スペース	摘んで遊べる草花 ムラサキツユクサ・オシロイバナ・ハコベ・シロツメクサ・アサガオ・スマレ・オオイヌフグリ・パセリ	動植物・自然物など身近なものを仲立ちとし、保育士との関係を深め、人間関係およびコミュニケーション能力を高めていく。		植物に十分に触れて遊ぶ中で、指先の機能をより発達させる。	
	触ったり匂いをかいだり、感触を楽しむ草花 ハーブ類・芝生・コットンフラワー・オジギソウ・シソ・ハウセンカ  虫が集まる樹・実のなる樹・夏みかんの木 あおむし・だんごむし・ばななむし・あり・ちょう ブルーベリー・キウイ			植物に触れ合うことで視覚・臭覚・触感を通して感じるとともに、その植物の特徴を楽しみ、さらに探索活動を活発にする。	自然の中での小さな発見に喜んだり、感動し、また更なる探究心を育てる。 小動物に触れることで、手触りや動きの変化に感動したり、生き物への興味が育つ。
めだかすい ずいらんど 生命の スペース	ミニビオトープ・池 水草・メダカ・カブトムシ・スズムシ・ザリガニ ウッドデッキ・竹床・小石			小動物に触れることで、手触りや動きの変化に感動したり、生き物への興味が育つ。 水辺の小石や水の感触を楽しみ、その性質に関心をもつ。	
けんきゅうしつ 研究・ 科学の スペース	いろいろ試す・実験する 虫眼鏡・カップ・皿・スプーン・しゃもじ・すりこぎ・すり鉢・お玉・図鑑・テーブル				